

同文書館ではこれより先、昭和54年3月に「山口県行政文書仮目録 戦前の部」を刊行したが、これに登載したものの一部も含めて、1940年代（昭和15年1月～昭和24年12月）に完結した山口県の行政簿冊文書を収録したものである。

配列は1940年代の同県の組織を「部」に大別し、その中を「課」毎にまとめ、最後に国の各機関を一括して掲載している。目録の内容は、「請求番号」「課・係名」「標題」「標記年」「簿冊完結年」の5項目が記載されている。

また、最初に「1940年代山口県「部」・「課」変遷表」が掲載されており、行政組織の歴史的な変遷がわかり、検索のための参考となる。この変遷表は所々空欄になっている。又組織がある年代で途絶えているところもある。これは、戦前戦後の世相を反映しているもので、その頃の様子的一端が伺えるが、戦前に廃止された組織が戦後どこへ引継がれたか、戦後新しく設置された組織の設置根拠等の若干のコメント等が記載されておれば更に充実したものとなったように思う。しかし、この時期は制度の転換期であり、組織の統廃合等の過渡期的な現象の中で資料等もあまり無く、変遷表の作成は多くの苦労があったと思う。

また、同文書館では、このほか「山口県文書館蔵行政資料目録-1940年代・1950年代-」を刊行している。これは、山口県の各課等が作成した印刷刊行物の目録である。これらの目録を併せて利用することにより、一つの年代を横に通覧することもできる。

渡辺佳子・京都府立総合資料館

山口県文書館蔵行政文書目録
—1940年代完結簿冊目録—

山口県文書館編
山口 編者発行 1993. 3
241 p 26cm

山口県文書館は「山口県の公文書及び記録並びに県内の歴史に関する文書及び記録」を収集・保存し、その歴史的な活用を図っている。このうち、前者を「行政文書」後者を「諸家文書」と呼んでいる。本目録は、この内の「行政文書」の目録である。

公文書の公開の時期については、1968年の第6回ICAの大会において勧告された「30年原則（30年経過後公開）」が国際的に通用しているが山口県文書館もこの原則に従い、30年経過後に公開している。本目録も30年を経過した公文書について、作成されたものである。